

## 別紙

## I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間 接交付金事業者名	交付金事業に要し た経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	坂下用水路改修工事	錦江町	3,790,800	3,500,000	総事業費 3,790,800
2	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	錦江町環境保全作業用軽ダンプ車整備事業	錦江町	1,036,158	962,388	総事業費 1,036,158

## Ⅱ. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修 又は維持運営等措置	坂下用水路改修工事		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		錦江町		
交付金事業実施場所		錦江町大字田代川原地内		
交付金事業の概要		坂下用水路は、二級河川雄川の上流に位置し、猪鹿倉・鳥淵地区の約3haの水田を灌漑するとともに、防水用水としても重要な役割を果たしています。現在の水路の一部は、地面を掘り下げただけの状態、台風、大雨時に水路の法面浸食、土砂堆積等により通水断面の確保が困難になり、氾濫を起こす可能性が高いため、当該水路をコンクリート製の水路に改修する工事に交付金を充当します。 <事業量> 施工延長 L=43m (暗渠工 L=13m、調整柵工 L=2m、水路工 L=26m、摺付工 L=2m) 張コンクリート工 A=11.00m <sup>2</sup>		
総事業費		3,790,800	交付金充当額	3,500,000
			うち文部科学省分	0
			うち経済産業省分	3,500,000
交付金事業の成果目標		用水路を整備することにより災害の未然防止や農業用水の安定的な供給を図り、大雨・台風時の用水路管理を安易にすることで、地域住民の福祉の向上を図ります。		
交付金事業の成果指標		〈農業産出額〉平成26年度：107.7億円→平成32年度：118億円		
交付金事業の成果及び評価		今回、用水路の改修及び法面の保護、防護柵、集水枡などの整備したことで災害の未然防止及び農業用水の安定的な供給を図り、大雨・台風時における用水路管理を安易にすることができ、地域住民の福祉の向上が図られました。 「農業産出額」については平成33年度に改めて達成度合いを測定予定です。		
交付金事業の契約の概要				
契約の目的		契約の方法	契約の相手方	契約金額
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無				
無				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度				

(備考)

- (1) 事業ごとに作成すること。
- (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
- (3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条に規定する同法の目的の趣旨を踏まえて具体的に記載すること。
- (4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。
- (5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
- (6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。
- (7) 成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、第三者機関等の名称及び構成員等を記載すること。

## II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称		
2	公共用施設に係る整備、維持補修 又は維持運営等措置	錦江町環境保全作業用軽ダンプ車整備事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		錦江町		
交付金事業実施場所		錦江町大字田代麓827番地1		
交付金事業の概要		<p>本町では、貴重な地域資源である河川や海岸を活用したイベントを多数実施していますが、快適なイベント会場を設営するためにイベント開催場所の環境保全を行う必要があり、作業効率を高め、効率的な環境保全事業に寄与する軽ローダンプ車（低床簡易ダンプ車）の整備に交付金を充当します。</p> <p>軽ローダンプ車1台（低床簡易ダンプ車） 排気量660cc以下、駆動方式4WD、トランスミッション5MT、ドア数2ドア、標準ルーフ、荷台形状3方開</p>		
総事業費		1,036,158	交付金充当額 うち文部科学省分 うち経済産業省分	962,388 0 962,388
交付金事業の成果目標		<p>鹿児島県観光振興基本方針では、大隅地域において、地域の特性を踏まえ、豊かな自然環境や良好な景観等の素材を活かした観光地づくりが施策の方向性として示されており、河川や海岸という地域資源を活用したイベントの作業効率を高め、これら地域資源の保全と美化に努めていくことで、町への観光入込客数の増加が期待され、地域住民の福祉の向上を図ることを目標とします。</p>		
交付金事業の成果指標		年度観光入込客数 平成28年度376,467人→平成29年度380,000人		
交付金事業の成果及び評価		<p>平成29年度の観光入込客数は381,362人で目標の380,000人を達成しました。車両を整備したことで、地域住民の負担の軽減を図り、地域資源を活用したイベントを継続し、更に魅力あるイベントの開催をできたことが町への観光入込客数の増加につながったと考えています。今後も、河川や海岸という地域資源を活用したイベントの作業効率を高め、これら地域資源の保全と美化に努めていくことで、地域住民の福祉の向上を図ります。</p>		
交付金事業の契約の概要				
契約の目的		契約の方法	契約の相手方	契約金額
錦江町環境保全作業用軽ダンプ車整備事業		指名競争入札	山下自動車整備工場	1,036,158
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無				
無				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度				該当無し

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
  - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
  - (3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条に規定する同法の目的の趣旨を踏まえて具体的に記載すること。
  - (4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。
  - (5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
  - (6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。
  - (7) 成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、第三者機関等の名称及び構成員等を記載すること。